

「恋人の聖地」照らす

内灘町観光協 L E D 400個設置



LEDの点灯を確認する協会員
＝内灘町総合公園見晴らし台

内灘町観光協会は8日、
町総合公園の見晴らし台

に、「恋人の聖地」のムードを高める発光ダイオード(LED)のライト400個を設置した。9月末まで点灯し、カップルらに夜の散策を楽しんでもらう。

太陽電池式で暗くなると自動的に点灯し、6時間程度発光する。淡い光で「鐘つき堂」やハート形のオブジェ、通路の周辺を照らす。8日は丸岡健二会長ら14人が設置作業を行った。